

4 個別の事務事業評価シート（概要）

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
1	道徳教育の充実	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成15年度 【概要】道徳の時間の授業を通して、その意義を図りながら指導法の工夫・改善を図るとともに、学校や家庭、地域の方々の協力による開かれた道徳教育の充実に努める。 【対象者】幼・小・中・高等学校道徳主任等、研究会開催校区の保護者及び地域住民 【具体的な活動内容】 ・市道徳教育研究会の開催	市単	[概算コスト] 2,417 (内訳) ・決算額 8 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 2,385 (内訳) ・決算額 8 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 2,363 (内訳) ・決算額 8 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 2,341 (内訳) ・予算額 8 ・人件費 2,333 (0.30人)
2	「こころの言の葉」コンクール事業	学校教育課	イベント	○事業開始年度 平成15年度 【概要】中学生とその保護者が、葉書1枚程度のメッセージの交換をとおして、相手の存在の意義と自分の在り方・生き方を考える。 【対象者】本市内の中学生とその保護者 【具体的な活動内容】 ・手紙文コンクールの実施 ・作品集「こころの言の葉」の作成、配布	市単	[概算コスト] 1,963 (内訳) ・決算額 1,160 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,997 (内訳) ・決算額 1,205 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 2,069 (内訳) ・決算額 1,284 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 2,068 (内訳) ・予算額 1,290 ・人件費 778 (0.10人)
3	音楽等文化活動に対する助成	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和62年度 【概要】県市代表として九州大会・全国大会に出場する市立小・中・高等学校の吹奏楽、合唱、書道、美術等の文化活動の団体に対して、必要経費の一部を助成する。 【対象者】市立小・中・高等学校の児童・生徒 【具体的な活動内容】 補助金の交付	市単	[概算コスト] 7,896 (内訳) ・決算額 7,093 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 8,549 (内訳) ・決算額 7,361 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 9,983 (内訳) ・決算額 8,806 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 7,120 (内訳) ・予算額 7,120 ・人件費 1,166 (0.15人)
4	人権教育の推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】あらゆる人権問題について正しい認識と理解を深め、人権尊重の精神に徹し、差別や偏見をなくしていこうとする意欲と実践力をもった人間の育成に努めるよう各学校における人権教育の充実を図っている。 【対象者】教育委員会職員、教職員、児童生徒、保護者 【具体的な活動内容】 人権教育担当者会の開催、人権教育研修会の開催、人権教育資料の作成・配布、人権教育啓発用DVD、VTR等の購入、人権教育研修会・研究会への出席	市単	[概算コスト] 2,836 (内訳) ・決算額 427 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 2,671 (内訳) ・決算額 294 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 2,807 (内訳) ・決算額 452 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 2,782 (内訳) ・予算額 449 ・人件費 2,333 (0.30人)
5	人権教育推進事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 平成9年度 【概要】人権問題に関する諸問題についての正しい認識と理解を深め、相互友愛の望ましい市民性の育成を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・人権問題のしおり「みんなの幸せを求めて」の発行及び配布 ・人権学習・啓発用ビデオや図書の購入及び活用の推進 ・「人権啓発講演会」の実施 ・研修会や学習会の開催(地域別人権問題研修会ほか)	市単	[概算コスト] 3,496 (内訳) ・決算額 2,051 ・人件費 1,445 (0.18人)	[概算コスト] 3,772 (内訳) ・決算額 2,346 ・人件費 1,426 (0.18人)	[概算コスト] 3,195 (内訳) ・決算額 1,782 ・人件費 1,413 (0.18人)	[概算コスト] 3,840 (内訳) ・予算額 2,440 ・人件費 1,400 (0.18人)
6	教育相談の充実	青少年課	相談	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】面接や電話による教育相談やカウンセリング等を実施し、青少年の心身の健全な発達を支援する。 【対象者】児童生徒、保護者、教職員等 【具体的な活動内容】 ・教育相談室での相談活動 ・スクールカウンセラーの相談活動 ・生活指導支援員による支援活動 ・教育相談室相談員等研修会の実施	県補助	[概算コスト] 50,965 (内訳) ・決算額 49,359 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 52,520 (内訳) ・決算額 50,935 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 50,313 (内訳) ・決算額 48,743 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 53,553 (内訳) ・予算額 51,998 ・人件費 1,555 (0.20人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
研究大会回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 180 [実績値] 188 <達成率> 104.4%	[目標値] 180 [実績値] 206 <達成率> 114.4%	[目標値] 180 [実績値] 207 <達成率> 115.0%	[目標値] 180 [実績値] 207 <達成率> 115.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(9ページ)参照
募集回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	応募作品数 (単位:点)	[目標値] 11,000 [実績値] 13,687 <達成率> 124.4%	[目標値] 12,000 [実績値] 14,096 <達成率> 117.5%	[目標値] 13,000 [実績値] 16,114 <達成率> 124.0%	[目標値] 14,000 [実績値] 16,114 <達成率> 124.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(10ページ)参照
県市代表として参加した助成場団体数 (単位:団体)	[目標値] 12 [実績値] 32 <達成率> 266.7%	[目標値] 24 [実績値] 47 <達成率> 195.8%	[目標値] 24 [実績値] 56 <達成率> 233.3%	[目標値] 24 [実績値] 56 <達成率> 233.3%	参加児童生徒数 (単位:人)	[目標値] 480 [実績値] 1,044 <達成率> 217.5%	[目標値] 840 [実績値] 817 <達成率> 97.3%	[目標値] 840 [実績値] 1,045 <達成率> 124.4%	[目標値] 840 [実績値] 1,045 <達成率> 124.4%	A	A	継続 (理由) 児童生徒の文化活動を充実させるとともに、保護者の負担軽減を図るために必要な事業である。
人権教育資料の配付校数 (単位:校数)	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	人権教育資料を活用した校内研修実施校数 (単位:校数)	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	[目標値] 124 [実績値] 124 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 学校で人権教育にあたる教職員が人権問題について理解を深め、指導力を向上するために必要である。
啓発講演会実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	啓発講演会参加者数 (単位:人)	[目標値] 400 [実績値] 358 <達成率> 89.5%	[目標値] 400 [実績値] 326 <達成率> 81.5%	[目標値] 400 [実績値] 193 <達成率> 48.3%	[目標値] 400 [実績値] 193 <達成率> 48.3%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(11ページ)参照
教育相談室相談員数 (単位:人)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	教育相談室相談件数 (単位:件)	[目標値] 4,045 [実績値] 4,045 <達成率> 100.0%	[目標値] 4,580 [実績値] 4,580 <達成率> 100.0%	[目標値] 4,306 [実績値] 4,306 <達成率> 100.0%	[目標値] — [実績値] — <達成率> —	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(12ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
7	学校体育活動の充実	保健体育課	その他	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】 ・教職員の資質向上 ・児童生徒の体力づくりの推進 【対象者】 児童生徒、教職員 【具体的な活動内容】 ・研修会等の実施や研究協力校の委嘱、校内研修会への指導主事派遣を通して教職員の資質向上を図る。 ・体力・運動能力調査の結果を基に、児童生徒の体力を高めるための取組を工夫・充実させる。	市単	[概算コスト] 4,002 (内訳) ・決算額 870 ・人件費 3,132 (0.39人)	[概算コスト] 4,005 (内訳) ・決算額 915 ・人件費 3,090 (0.39人)	[概算コスト] 3,931 (内訳) ・決算額 870 ・人件費 3,061 (0.39人)	[概算コスト] 3,948 (内訳) ・予算額 915 ・人件費 3,033 (0.39人)
8	中・高等学校運動部活動活性化事業	保健体育課	助成・育成	○事業開始年度 平成10年度 【概要】 運動部活動の専門的な指導者を必要とする市立中・高等学校に指導協力者を派遣する。 【対象者】 市立中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・指導協力者の派遣(中学校34人、高等学校6人) ・指導協力者に対する研修会(年1回)	市単	[概算コスト] 8,074 (内訳) ・決算額 6,789 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 7,651 (内訳) ・決算額 6,383 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 7,890 (内訳) ・決算額 6,634 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 8,048 (内訳) ・予算額 6,804 ・人件費 1,244 (0.16人)
9	学校プール整備事業	保健体育課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和36年度 【概要】 ・プールの新設及び改修 【対象者】 ・小・中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・老朽化したプール施設の整備を行う。	国補助	[概算コスト] 212,144 (内訳) ・決算額 209,333 ・人件費 2,811 (0.35人)	[概算コスト] 40,003 (内訳) ・決算額 37,230 ・人件費 2,773 (0.35人)	[概算コスト] 182,086 (内訳) ・決算額 179,339 ・人件費 2,747 (0.35人)	[概算コスト] 198,740 (内訳) ・予算額 196,018 ・人件費 2,722 (0.35人)
10	小・中学校体育施設整備事業	保健体育課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和36年度 【概要】 老朽化により使用に支障をきたす体育施設・遊具等の更新 【対象者】 市立小・中学校 【具体的な活動内容】 ・老朽化した施設を整備し、安全性を高める。 ・施設及びその配置の瑕疵による事故防止を図る。	市単	[概算コスト] 5,038 (内訳) ・決算額 2,790 ・人件費 2,248 (0.28人)	[概算コスト] 3,266 (内訳) ・決算額 1,048 ・人件費 2,218 (0.28人)	[概算コスト] 10,199 (内訳) ・決算額 8,001 ・人件費 2,198 (0.28人)	[概算コスト] 14,273 (内訳) ・予算額 12,096 ・人件費 2,177 (0.28人)
11	中学校柔剣道場整備事業	保健体育課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】 ・柔剣道場の整備及び老朽化した施設の改修 【対象者】 ・市立中学校 【具体的な活動内容】 ・既存施設の改修 ・築15年以上経過したものについては、計画的に整備を進めている。	市単	[概算コスト] 7,323 (内訳) ・決算額 6,038 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 7,180 (内訳) ・決算額 5,912 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 7,070 (内訳) ・決算額 5,814 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 8,598 (内訳) ・予算額 7,354 ・人件費 1,244 (0.16人)
12	市立高等学校体育施設整備事業	保健体育課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和36年度 【概要】 老朽化により使用に支障をきたす体育施設の整備 【対象者】 市立高等学校 【具体的な活動内容】 ・老朽化した各種体育施設を整備し、安全性を高める。	市単	[概算コスト] 25,692 (内訳) ・決算額 25,050 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 23,880 (内訳) ・決算額 23,246 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 3,214 (内訳) ・決算額 2,586 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 37,562 (内訳) ・予算額 36,940 ・人件費 622 (0.08人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
指導主事派遣回数 (単位:回)	[目標値] 30 [実績値] 26 〈達成率〉 86.7%	[目標値] 30 [実績値] 27 〈達成率〉 90.0%	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 30	体力・運動能力調査体力合計点(小5男) (単位:点)	[目標値] 54 [実績値] 52 〈達成率〉 96.4%	[目標値] 54 [実績値] 53 〈達成率〉 98.1%	[目標値] 54	[目標値] 54	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(13ページ)参照
派遣者数(実人員) (単位:人)	[目標値] 40 [実績値] 40 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 36 〈達成率〉 90.0%	[目標値] 40 [実績値] 38 〈達成率〉 95.0%	[目標値] 40	1人あたりの年間指導実施回数 (単位:回)	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 48 〈達成率〉 114.3%	[目標値] 42	[目標値] 42	A	A	継続 (理由) 専門的な指導者を必要とする学校に指導協力者を派遣することは、学校運動部活動の活性化、生徒の競技力向上並びに部活動顧問の指導力育成に効果があり、継続すべきである。
設計業務委託件数 プール本体 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	水に対する安全能力、体力・泳力の向上	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	[目標値] 3	[目標値] 3	A	A	継続 (理由) 安全で衛生的な水泳学習環境を整え、円滑に水泳授業を行うために必要な事業である。
整備校数 (単位:校)	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	児童生徒の健康増進、体力の向上	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	[目標値] 3	[目標値] 3	A	A	継続 (理由) 老朽化した市立小中学校の体育施設・遊具等を整備する本事業は、安全性を高めるとともに、教育環境を充実するために必要である。
整備校数 (単位:校)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	生徒の健康増進、体力・競技力向上	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	A	A	継続 (理由) 市立中学校の柔剣道場は、武道の授業の場であるとともに社会体育施設としても活用されることから、安全性を確保し、教育環境を充実するために計画的な整備が必要である。
整備校数 (単位:校)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	生徒の健康増進、体力・競技力向上	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	A	A	継続 (理由) 老朽化した市立高等学校の各種体育施設を整備して安全性を高め、事故を防止する本事業は、生徒の体力・競技力の向上にもつながり、継続して実施すべきである。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
13	私立幼稚園施設等整備助成事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成5年度 【概要】私立幼稚園の園舎の新築、増築若しくは改築等、屋外教育環境の整備又は大型遊具の設置による整備並びに地震・台風等の影響による災害復旧の場合に必要な経費の一部について、予算の範囲内で補助金を交付する。 【対象者】市内の私立幼稚園 【具体的な活動内容】補助金交付円数及び補助項目数 25年度(予定):対象園数 9園・補助項目 10項目 24年度(実績):対象園数 8園・補助項目 8項目 23年度(実績):対象園数 8園・補助項目 9項目 22年度(実績):対象園数 6園・補助項目 9項目	市単	[概算コスト] 11,124 (内訳) ・決算額 10,321 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 14,336 (内訳) ・決算額 13,544 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 20,009 (内訳) ・決算額 19,224 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 25,934 (内訳) ・予算額 25,156 ・人件費 778 (0.10人)
14	多子世帯保育料等軽減事業(幼稚園関係)	学務課	助成・育成	○事業開始年度 平成21年度 【概要】私立幼稚園に就園する3・4・5歳児の多子世帯(満18歳未満の児童を3人以上扶養している世帯)の保護者で比較的所得の低い者に対し、幼稚園の設置者が第3子以降の保育料等を減免した場合に設置者に補助する。 【対象者】18歳未満の児童を3人以上扶養している所得税の課税額が40,000円未満の世帯で、私立幼稚園に就園する第3子以降の保育料等を減免した場合の幼稚園の設置者 【具体的な活動内容】多子世帯の経済的負担の軽減	県補助	[概算コスト] 12,345 (内訳) ・決算額 10,418 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 13,169 (内訳) ・決算額 11,267 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 15,208 (内訳) ・決算額 13,324 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 17,411 (内訳) ・予算額 15,545 ・人件費 1,866 (0.24人)
15	私立幼稚園障害児教育補助事業	学務課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】障害児が在籍する私立幼稚園で県の助成対象になっていない園に補助する。 【対象者】5月1日現在、障害児の在園する私立幼稚園 【具体的な活動内容】県の助成対象にならない園(1人在園)に助成する 補助額 1園あたり392,000円	市単	[概算コスト] 5,536 (内訳) ・決算額 3,528 ・人件費 2,008 (0.25人)	[概算コスト] 3,549 (内訳) ・決算額 1,568 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 4,706 (内訳) ・決算額 2,744 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 6,256 (内訳) ・予算額 4,312 ・人件費 1,944 (0.25人)
16	学力検査の実施事業	学校教育課	調査・研究	○事業開始年度 昭和37年度 【概要】「確かな学力」の育成を目指すため、諸検査による学力の実態等をもとに課題を明確にして、指導と評価の一体化を図る。 【対象者】市立小・中学校の全小6、中3の児童生徒 【具体的な活動内容】小学校6年生に対して、国語、社会、算数、理科の4教科の学力検査を、中学校3年生に対して、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の学力検査を実施する。	市単	[概算コスト] 17,161 (内訳) ・決算額 16,358 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 17,093 (内訳) ・決算額 16,301 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 16,761 (内訳) ・決算額 15,976 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 17,043 (内訳) ・予算額 16,265 ・人件費 778 (0.10人)
17	個性あふれる学校づくり推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成13年度 【概要】「総合的な学習の時間」等において、体験活動を充実させ、特色ある教育活動を推進する。 【対象者】小・中学生、高校生 【具体的な活動内容】地域の人材や外部講師を授業に活用するための報償費、バスの借上料や施設入館料等の使用料及び賃借料、切手・乗車カード等の購入に要する役務費	市単	[概算コスト] 12,551 (内訳) ・決算額 10,945 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 12,658 (内訳) ・決算額 11,073 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 12,265 (内訳) ・決算額 10,695 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 12,194 (内訳) ・予算額 10,639 ・人件費 1,555 (0.20人)
18	外国人等児童生徒の教育推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成2年度 【概要】外国人等児童生徒の日本語指導のため、名山小学校内に日本語教室を開設し、日本語指導協力者2人を配置し、指導や教職員研修等を行う。 【対象者】鹿児島市立小・中学校の外国人等児童生徒 【具体的な活動内容】日本語教室を設置し、鹿児島市立小・中学校に在籍する日本語が理解できない外国人等児童生徒に日本語指導等を行う。	市単	[概算コスト] 1,328 (内訳) ・決算額 926 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 1,431 (内訳) ・決算額 1,035 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 1,434 (内訳) ・決算額 1,042 ・人件費 392 (0.05人)	[概算コスト] 1,447 (内訳) ・予算額 1,058 ・人件費 389 (0.05人)

【評価区分】

- A:継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B:見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C:統合 事業の統合を検討すべき
 D:縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E:休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F:廃止 制度自体を廃止すべき
 G:終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
助成園数 (単位:園)	[目標値] 8 [実績値] 6 〈達成率〉 75.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 6 〈達成率〉 42.9%	[目標値] 9	幼稚園教育の円滑な実施と就学前教育のより一層の充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	A	A	継続 (理由) 私立幼稚園の施設・設備の整備を支援する本事業は、本市幼児教育の円滑な実施と就学前教育の一層の充実に寄与し必要であるが、国の幼保連携一元化に関する動向を注視する必要がある。
補助人数 (単位:人)	[目標値] 442 [実績値] 295 〈達成率〉 66.7%	[目標値] 232 [実績値] 311 〈達成率〉 134.1%	[目標値] 290 [実績値] 364 〈達成率〉 125.5%	[目標値] 392	軽減総額 (単位:千円)	[目標値] 26,496 [実績値] 9,985 〈達成率〉 37.7%	[目標値] 8,576 [実績値] 10,767 〈達成率〉 125.5%	[目標値] 10,584 [実績値] 12,879 〈達成率〉 121.7%	[目標値] 15,047	A	A	継続 (理由) 多子世帯の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の充実を図る県補助事業であり必要であるが、幼児教育無償化に関する国の動向を注視する必要がある。
補助園数 (単位:園)	[目標値] 13 [実績値] 9 〈達成率〉 69.2%	[目標値] 12 [実績値] 4 〈達成率〉 33.3%	[目標値] 11 [実績値] 7 〈達成率〉 63.6%	[目標値] 11	障害児就園機会の拡充	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	A	A	継続 (理由) 県の助成対象となっていない私立幼稚園に対して本事業から補助することで、障害児の就園の機会が拡充し、幼稚園教育の推進が図られる。
学力検査受検者数 (単位:人)	[目標値] 11,299 [実績値] 11,299 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11,008 [実績値] 11,008 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11,167 [実績値] 11,167 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11,131	教育課程や指導方法の改善・充実が図られた学校数 (単位:校)	[目標値] 117 [実績値] 117 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 117 [実績値] 117 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 117 [実績値] 117 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 117	A	B	見直し (理由) 児童生徒の総合的な学力を把握することができ、検査結果を指導改善に生かし児童生徒の学力向上につなげるものであり、継続する必要がある。「確かな学力」の更なる育成を目指すためには対象学年を拡大して実施することが望ましい。
事業費 (単位:千円)	[目標値] 12,396 [実績値] 10,945 〈達成率〉 88.3%	[目標値] 12,014 [実績値] 11,073 〈達成率〉 92.2%	[目標値] 11,009 [実績値] 10,695 〈達成率〉 97.1%	[目標値] 10,639	外部講師招へい数 (単位:人)	[目標値] 800 [実績値] 893 〈達成率〉 111.6%	[目標値] 800 [実績値] 827 〈達成率〉 103.4%	[目標値] 800 [実績値] 804 〈達成率〉 100.5%	[目標値] 800	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(14ページ)参照
日本語指導協力者による指導回数 (単位:回)	[目標値] 120 [実績値] 120 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 140 [実績値] 140 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 140 [実績値] 150 〈達成率〉 107.1%	[目標値] 140	日本語の習得や生活への適応	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	A	A	継続 (理由) 外国人等児童生徒への日本語指導は、日本における生活や学習への適応を促進するために必要であり、日本語指導協力者の配置、研修による資質向上の取組を継続すべきである。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
19	芸術文化活動等の奨励事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和31年度 【概要】芸術文化活動を奨励充実し、児童生徒の情操陶冶と個性の伸長を図る。 【対象者】市内全幼稚園、小・中学校の園児・児童・生徒 【具体的な活動内容】 ・小・中学校音楽発表会 ・小・中学校図工・美術学習発表展 ・仲よし作品展(特別支援学級在籍児童・生徒の作品展) ・県図画作品展市審査会 ・中学校生徒弁論大会	市単	[概算コスト] 10,043 (内訳) ・決算額 3,619 ・人件費 6,424 (0.80人)	[概算コスト] 9,990 (内訳) ・決算額 3,566 ・人件費 6,424 (0.80人)	[概算コスト] 10,261 (内訳) ・決算額 3,837 ・人件費 6,424 (0.80人)	[概算コスト] 10,431 (内訳) ・予算額 4,007 ・人件費 6,424 (0.80人)
20	学校コンピュータ活用推進事業	学習情報センター	その他	○事業開始年度 平成10年度 【概要】学校に整備したコンピュータ及び周辺機器の適切な維持管理や消耗品の補充を行い、コンピュータ等の利用環境を充実する。 【対象者】市立小・中・高等学校の教職員及び児童・生徒 【具体的な活動内容】国が進める教育の情報化の方針に沿い、全ての学校に整備したコンピュータ本体及び周辺機器の適切な維持管理や消耗品の補充を行い、利用環境を充実する。	市単	[概算コスト] 179,142 (内訳) ・決算額 177,572 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 166,006 (内訳) ・決算額 164,436 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 96,037 (内訳) ・決算額 94,467 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 139,701 (内訳) ・予算額 138,146 ・人件費 1,555 (0.20人)
21	教育情報ネットワークシステム活用推進事業	学習情報センター	その他	○事業開始年度 平成10年度 【概要】鹿児島市教育情報ネットワークシステム(KEIネット)を、常に学習に適したネットワークとして維持管理する。学習におけるインターネットの活用推進を図り、学校における情報教育を積極的に推進する。また、学校ホームページの充実等開かれた学校づくりを図る。 【対象者】市立幼・小・中・高等学校の教職員及び園児・児童・生徒 【具体的な活動内容】学校の情報ネットワークの整備	市単	[概算コスト] 64,551 (内訳) ・決算額 62,945 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 61,557 (内訳) ・決算額 59,972 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 59,176 (内訳) ・決算額 57,606 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 59,256 (内訳) ・予算額 57,701 ・人件費 1,555 (0.20人)
22	小学校社会科「のびゆく鹿児島」編集・発行事業	学校教育課	その他	○事業開始年度 昭和54年度 【概要】小学校3・4年生の社会科学習では、自分たちの住んでいる市や県の特徴を理解するとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に対する誇りと愛情を育てることとなっている。この目標や内容に即した副読本を編集・発行し、本市社会科学教育の充実を図る。 【対象者】本市小学校3・4年生 【具体的な活動内容】小学校社会科副読本「のびゆく鹿児島」の編集・発行	市単	[概算コスト] 3,510 (内訳) ・決算額 1,101 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 3,584 (内訳) ・決算額 1,229 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] — (内訳) ・予算額 — ・人件費 —
23	国内交流教育の推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和44年度 【概要】鶴岡・大垣両市及び養老町中学生との交流を通じて次代を担う若者が薩摩の先人の偉業に直接ふれることにより、人としての在り方を学び、自己の生き方について考える契機とする。 【対象者】交流中学生 【具体的な活動内容】 ①鶴岡市中学生との交流(本市中学生を隔年で派遣) ②大垣市中学生との交流(本市中学生を毎年派遣) ③養老町中学生との交流(甲東中学校を毎年訪問)	市単	[概算コスト] 5,266 (内訳) ・決算額 2,054 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 8,335 (内訳) ・決算額 5,166 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 5,123 (内訳) ・決算額 1,983 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 8,499 (内訳) ・予算額 5,389 ・人件費 3,110 (0.40人)
24	国際交流教育の推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和57年度 【概要】語学指導等を行う外国青年(外国語指導助手ALT)の招致、中学生スキット・スピーチコンテストの実施 【対象者】中学校、高等学校 【具体的な活動内容】 ・外国語指導助手21人が中・高等学校を訪問し、日本人教師とともに英語指導を行う。 ・市立39中学校、国立及び私立の参加希望中学校(2、3年)の代表による英語スキット・スピーチコンテストを開催する。	市単	[概算コスト] 105,022 (内訳) ・決算額 103,416 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 108,993 (内訳) ・決算額 107,408 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 106,238 (内訳) ・決算額 104,668 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 110,558 (内訳) ・予算額 109,003 ・人件費 1,555 (0.20人)

【評価区分】

- A:継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B:見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C:統合 事業の統合を検討すべき
 D:縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E:休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F:廃止 制度自体を廃止すべき
 G:終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
仲よし作品展参加校数 (単位:校)	[目標値] 107 [実績値] 107 <達成率> 100.0%	[目標値] 107 [実績値] 107 <達成率> 100.0%	[目標値] 105 [実績値] 105 <達成率> 100.0%	[目標値] 105	仲よし作品展出品数 (単位:点)	[目標値] 603 [実績値] 603 <達成率> 100.0%	[目標値] 669 [実績値] 669 <達成率> 100.0%	[目標値] 709 [実績値] 709 <達成率> 100.0%	[目標値] 829	A	A	継続 (理由) 市内の全小中学校の児童生徒を対象に芸術文化活動等の発表の場を設け、情操の育成と個性の伸長を図っており、継続が妥当である。
市立小・中・高等学校における教育用コンピュータ整備累計台数 (単位:台)	[目標値] 14,350 [実績値] 14,414 <達成率> 100.4%	[目標値] 14,296 [実績値] 14,414 <達成率> 100.8%	[目標値] 14,191 [実績値] 12,981 <達成率> 91.5%	[目標値] 14,194	文科省調査「教員のICT活用指導力に関する調査」 (単位:%)	[目標値] 70 [実績値] 62 <達成率> 88.4%	[目標値] 70 [実績値] 65 <達成率> 93.4%	[目標値] 70 [実績値] 68 <達成率> 97.4%	[目標値] 70	A	A	継続 (理由) 学校に整備したコンピュータ及び周辺機器の利用環境を整備する本事業は、情報化社会の進展に対応し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教職員の「より分かりやすい授業」の推進、学校用務の効率化を図るためにも必要な事業である。
学校ホームページ発信学校数 (単位:校)	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100.0%	[目標値] 120	文科省調査「教育の情報化に関する調査」 (単位:%)	[目標値] 80 [実績値] 67 <達成率> 83.6%	[目標値] 80 [実績値] 71 <達成率> 88.3%	[目標値] 80 [実績値] 76 <達成率> 94.8%	[目標値] 80	A	A	継続 (理由) 市教育情報ネットワークシステムの維持管理に係る事業であり、継続する必要がある。教育用コンテンツの充実とともに、今後は学校用務への活用の幅を広げられるよう、関係部局と連携して取り組む必要がある。
印刷部数 (単位:冊)	[目標値] 12,530 [実績値] 12,530 <達成率> 100.0%	[目標値] 13,000 [実績値] 13,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 13,000	[目標値] 13,000	配布部数(市内全小学校3年生対象) (単位:冊)	[目標値] 6,100 [実績値] 6,100 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,404 [実績値] 6,404 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,442 [実績値] 6,442 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,173	A	A	継続 (理由) 「のびゆく鹿児島」は、鹿児島市や鹿児島県についての資料を多数掲載し、小学3、4年の社会科学習に不可欠な補助教材である。社会の変化を的確に反映したものとなるよう、関係機関と連携して改訂作業に取り組む必要がある。
交流事業の参加者延べ人数 (単位:人)	[目標値] 148 [実績値] 148 <達成率> 100.0%	[目標値] 148 [実績値] 148 <達成率> 100.0%	[目標値] 145 [実績値] 145 <達成率> 100.0%	[目標値] 143	本市から鶴岡市・大垣市に派遣された生徒及び鶴岡市・大垣市・養老町から受け入れた生徒における交流が有意義であったと回答した割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(15ページ)参照
市立中学校の各学級のALTの年間活用時数 (単位:時間)	[目標値] 21 [実績値] 17 <達成率> 79.5%	[目標値] 21 [実績値] 19 <達成率> 89.0%	[目標値] 22 [実績値] 20 <達成率> 90.0%	[目標値] 22	ALTを活用した授業対象生徒数 (単位:人)	[目標値] 18,961 [実績値] 18,961 <達成率> 100.0%	[目標値] 18,866 [実績値] 18,866 <達成率> 100.0%	[目標値] 18,650 [実績値] 18,650 <達成率> 100.0%	[目標値] 18,516	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(16ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
25	小学校における英会話活動の推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成13年度 【概要】小学校における国際理解教育の一環として実施される英会話活動や外国語活動の充実を図るため、小学校に英会話活動協力員(AEA)を派遣する。 【対象者】児童 【具体的な活動内容】小学校にAEAを派遣する。1～4年生の各学級に年間3時間、5、6年生の各学級に年間15時間派遣する。	市単	[概算コスト] 23,279 (内訳) ・決算額 22,487 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 22,630 (内訳) ・決算額 21,838 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 23,127 (内訳) ・決算額 22,342 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 23,226 (内訳) ・予算額 22,448 ・人件費 778 (0.10人)
26	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	保健体育課	その他	○事業開始年度 平成22年度 【概要】学校の安全体制の整備 【対象者】児童生徒・教職員・学校安全ボランティア 【具体的な活動内容】小学校へのスクールガードリーダーの配置(15人、一人あたり4～6校担当)	国補助	[概算コスト] 5,142 (内訳) ・決算額 4,339 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 5,032 (内訳) ・決算額 4,240 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 4,595 (内訳) ・決算額 3,810 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 5,241 (内訳) ・予算額 4,463 ・人件費 778 (0.10人)
27	奨学資金貸付制度	総務課	助成・育成	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】向学心にもえその能力が十分であるにもかかわらず、経済的理由により修学困難である高校生等又はその保護者に対して奨学資金を貸与するものである。 【対象者】高等学校等に在学する者又はその保護者 【具体的な活動内容】鹿兒島市奨学資金貸付基金による貸付 奨学金 国公立 月額 18,000円 私立 月額 30,000円 入学一時金 国公立 40,000円 私立 100,000円	市単	[概算コスト] 38,643 (内訳) ・決算額 33,825 ・人件費 4,818 (0.60人)	[概算コスト] 34,538 (内訳) ・決算額 29,784 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 30,757 (内訳) ・決算額 26,048 ・人件費 4,709 (0.60人)	[概算コスト] — (内訳) ・予算額 — ・人件費 4,666 (0.60人)
28	就学援助事業	総務課	助成・育成	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】経済的理由から就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を行う。 【対象者】本市内の小中学校(私立校を除く)に在学する児童生徒の保護者で生活保護法に規定する要保護者及びこれに準じる程度に困窮していると認められるもの 【具体的な活動内容】援助の種類:学用品費及び通学用品費、新入学児童生徒学用品費等、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、体育実技用具費、医療費(指定疾病) (ただし、生活保護法による教育扶助を受けている保護者については「修学旅行費」、「医療費」のみ支給)	国補助	[概算コスト] 828,449 (内訳) ・決算額 820,580 ・人件費 7,869 (0.98人)	[概算コスト] 850,025 (内訳) ・決算額 842,260 ・人件費 7,765 (0.98人)	[概算コスト] 907,294 (内訳) ・決算額 899,602 ・人件費 7,692 (0.98人)	[概算コスト] 937,223 (内訳) ・予算額 929,603 ・人件費 7,620 (0.98人)
29	遠距離・安心安全通学費補助事業	総務課	助成・育成	○事業開始年度 (遠距離)平成9年度 (安心安全)平成21年度 【概要】遠距離又は交通安全を理由に校区内の小中学校に公共交通機関等を利用して通学する児童生徒の保護者に対し交通費を助成する。 【対象者】(遠距離)片道の通学距離が小学校4km以上、中学校6km以上の場合で、公共交通機関等を利用して通学する児童生徒 (安心安全)交通安全上徒歩や自転車での通学することが困難なため、公共交通機関等を利用して通学する児童生徒 【具体的な活動内容】(遠距離)公共交通機関等の通学定期料金相当額を限度として通学に要した交通費を補助する。 (安心安全)公共交通機関等の通学定期料金相当額の2分の1を限度として通学に要した交通費の2分の1を補助する。	市単	[概算コスト] 18,751 (内訳) ・決算額 14,094 ・人件費 4,657 (0.58人)	[概算コスト] 17,743 (内訳) ・決算額 13,148 ・人件費 4,595 (0.58人)	[概算コスト] 17,251 (内訳) ・決算額 12,699 ・人件費 4,552 (0.58人)	[概算コスト] 17,420 (内訳) ・予算額 12,910 ・人件費 4,510 (0.58人)
30	社会学級の開設事業	生涯学習課	市民参画	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】校区公民館ごとに成人学級、女性学級、小・中学校ごとに家庭教育学級、中学校に父親セミナーを開設し、社会生活上の様々な課題について学習する中で、必要な教養や知識・技能を習得するとともに、その成果をまちづくりに生かす。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】各学級において、必要課題、要求課題の学習 各学級で年5～10回開催	市単	[概算コスト] 10,779 (内訳) ・決算額 8,531 ・人件費 2,248 (0.28人)	[概算コスト] 10,101 (内訳) ・決算額 7,883 ・人件費 2,218 (0.28人)	[概算コスト] 9,746 (内訳) ・決算額 7,548 ・人件費 2,198 (0.28人)	[概算コスト] 11,792 (内訳) ・予算額 9,615 ・人件費 2,177 (0.28人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
小学校1～6年の各学級における平均訪問時間 (単位: 時間) ・1～4年=3時間 ・5,6年=15時間	[目標値] 7.0 [実績値] 6.5 <達成率> 92.9%	[目標値] 7.0 [実績値] 6.4 <達成率> 91.4%	[目標値] 7.0 [実績値] 6.5 <達成率> 92.9%	[目標値] 7.0	AEAを活用した授業対象児童数 (単位: 人)	[目標値] 34,247 [実績値] 31,935 <達成率> 93.2%	[目標値] 34,088 [実績値] 32,200 <達成率> 94.5%	[目標値] 33,843 [実績値] 32,966 <達成率> 97.4%	[目標値] 32,564	A	A	継続 (理由) 平成23年度から小学5、6年で外国語活動が必修化されたことから、英会話活動協力員を活用して小学生の国際感覚と英語によるコミュニケーション能力の素地を養う本事業の必要性は増している。
スクールガードリーダーの年間活動回数 (単位: 回)	[目標値] 615 [実績値] 615 <達成率> 100.0%	[目標値] 615 [実績値] 594 <達成率> 96.6%	[目標値] 615 [実績値] 528 <達成率> 85.9%	[目標値] 615	スクールガード等、子どもの見守り活動に従事する年間人数 (単位: %)	[目標値] 6,400 [実績値] 6,395 <達成率> 99.9%	[目標値] 6,400 [実績値] 6,624 <達成率> 103.5%	[目標値] 6,400 [実績値] 7,153 <達成率> 111.8%	[目標値] 6,400	A	A	継続 (理由) 防犯の専門家であるスクールガードリーダーの指導・助言は、学校の安全体制を整備し児童生徒の安全確保のために必要である。学校関係者、保護者、地域全体の意識向上につながるよう、継続した取組が求められる。
貸付金額 (単位: 千円)	[目標値] 33,825 [実績値] 33,825 <達成率> 100.0%	[目標値] 29,784 [実績値] 29,784 <達成率> 100.0%	[目標値] 26,048 [実績値] 26,048 <達成率> 100.0%	[目標値] -	新規貸与者数 (単位: 人)	[目標値] 79 [実績値] 79 <達成率> 100.0%	[目標値] 67 [実績値] 67 <達成率> 100.0%	[目標値] 63 [実績値] 63 <達成率> 100.0%	[目標値] -	A	A	継続 (理由) 教育の機会均等を図るうえで必要な制度である。積極的な督促や法的措置を含めた滞納対策を引き続き徹底する必要がある。
対象者数 (単位: 人)	[目標値] 11,565 [実績値] 11,570 <達成率> 100.0%	[目標値] 11,746 [実績値] 11,728 <達成率> 99.8%	[目標値] 12,374 [実績値] 12,346 <達成率> 99.8%	[目標値] 12,716	保護者の経済的負担の軽減及び児童生徒の教育を受ける機会の確保	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) 保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒が義務教育を受ける機会を確保する本事業は必要である。
対象者数 (単位: 人)	[目標値] 516 [実績値] 548 <達成率> 106.2%	[目標値] 527 [実績値] 508 <達成率> 96.4%	[目標値] 519 [実績値] 543 <達成率> 104.6%	[目標値] 533	保護者の経済的負担の軽減	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) 遠距離及び安心安全通学費補助事業の各補助要件を満たす児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることは、通学の安全確保等のために必要である。 (安心安全)歩道整備がされるまでの間、児童生徒の通学上の安全を確保するため継続が必要である。
社会学級開設総数 (単位: 学級)	[目標値] 300 [実績値] 288 <達成率> 96.0%	[目標値] 300 [実績値] 286 <達成率> 95.3%	[目標値] 300 [実績値] 290 <達成率> 96.7%	[目標値] 300	延べ参加者数 (単位: 人)	[目標値] 11,000 [実績値] 10,943 <達成率> 99.5%	[目標値] 11,000 [実績値] 11,363 <達成率> 103.3%	[目標値] 11,000 [実績値] 12,458 <達成率> 113.3%	[目標値] 13,000	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(17ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
31	公民館の管理運営	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】各地域公民館での講座の開設等 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 各地域公民館での講座の開設や地域総合文化祭の開催	市単	[概算コスト] 18,138 (内訳) ・決算額 18,138 ・人件費 (0.24人)	[概算コスト] 18,284 (内訳) ・決算額 18,284 ・人件費 (0.24人)	[概算コスト] 18,476 (内訳) ・決算額 18,476 ・人件費 (0.24人)	[概算コスト] 19,439 (内訳) ・予算額 19,439 ・人件費 (0.24人)
32	乳幼児と保護者のための家庭の教育力向上講座の開催	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 平成21年度 ※以前は社会学級の開設事業の一部として開催 【概要】「乳幼児期の家庭教育セミナー」「明日の母親と父親のための家庭教育講座」「育児教室における家庭教育講座」を実施し、家庭の教育力の向上を図る。 【対象者】乳幼児を持つ保護者・妊婦やその配偶者 【具体的な活動内容】 ・市内保育所や幼稚園と連携し、乳幼児期の保護者を対象とする「乳幼児期の家庭教育セミナー」を実施 ・市立病院の「母親学級」や、5保健センターの「母親・父親になるための準備教室」、「育児教室における家庭教育講座」を実施。	市単	[概算コスト] 2,852 (内訳) ・決算額 1,085 ・人件費 1,767 (0.22人)	[概算コスト] 2,774 (内訳) ・決算額 1,031 ・人件費 1,743 (0.22人)	[概算コスト] 2,891 (内訳) ・決算額 1,164 ・人件費 1,727 (0.22人)	[概算コスト] 2,891 (内訳) ・予算額 1,180 ・人件費 1,711 (0.22人)
33	女性教育活動推進事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】女性教育における学習機会の充実を図り、指導者を発掘し、女性の組織活動の活性化を図る。 【対象者】市内在住及び勤務する女性 【具体的な活動内容】 女性学級の開催 女性リーダー研修会の実施 女性リーダー国内研修への派遣 生涯学習リーダー養成研修会への派遣	市単	[概算コスト] 4,904 (内訳) ・決算額 2,816 ・人件費 2,088 (0.26人)	[概算コスト] 4,413 (内訳) ・決算額 2,353 ・人件費 2,060 (0.26人)	[概算コスト] 4,309 (内訳) ・決算額 2,268 ・人件費 2,041 (0.26人)	[概算コスト] 5,166 (内訳) ・予算額 3,144 ・人件費 2,022 (0.26人)
34	青少年補導センター事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 昭和39年度 【概要】非行化のおそれのある青少年を早期に発見して指導するため、関係機関・団体と連携して街頭補導活動や啓発活動を実施し、非行防止・健全育成を図る。 【対象者】青少年 【具体的な活動内容】 ・青少年の相談対応 ・青少年補導委員の委嘱 ・街頭補導及び継続指導 ・非行少年の早期発見、早期指導 ・関係機関との連携 ・補導書類及び資料の整備	市単	[概算コスト] 12,191 (内訳) ・決算額 11,388 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 11,919 (内訳) ・決算額 11,127 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 11,648 (内訳) ・決算額 10,863 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 12,246 (内訳) ・予算額 11,468 ・人件費 778 (0.10人)
35	生涯スポーツ指導者の養成	市民スポーツ課	助成・育成	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】地域住民のスポーツ・レクリエーション活動を積極的に推進するために、スポーツ推進委員の資質と指導力の向上を図り、市民スポーツの振興に資する。 【対象者】 スポーツ推進委員及び社会体育指導者等 【具体的な活動内容】 スポーツ推進委員会(年4回の研修を兼ねる)の実施、スポーツ推進委員視察研修の実施(隔年)、地域スポーツ・レクリエーション大会やスポーツ教室等の企画運営及び指導助言、市教委主催の社会体育事業への運営協力、地域スポーツクラブの運営協力、高齢者スポーツ指導者研修会の実施等	市単	[概算コスト] 13,506 (内訳) ・決算額 9,330 ・人件費 4,176 (0.52人)	[概算コスト] 13,196 (内訳) ・決算額 9,076 ・人件費 4,120 (0.52人)	[概算コスト] 13,393 (内訳) ・決算額 9,312 ・人件費 4,081 (0.52人)	[概算コスト] 13,872 (内訳) ・予算額 9,828 ・人件費 4,044 (0.52人)
36	市民体力づくり事業	市民スポーツ課	その他	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動を実施できるよう、各種スポーツ教室やニュースポーツの体験講座等を開催する。また、スポーツドクターによる問診を中心とした、健康体力づくりに関する相談を実施する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】各種スポーツ教室(17教室)、市民体力テスト(年間2校区)、健康体力相談(年間3回)、ニュースポーツ体験講座(年間2校区)、タグラグビー(4校区)、地域スポーツ教室(4校区)、ニュースポーツ用具貸出し	市単	[概算コスト] 4,230 (内訳) ・決算額 2,142 ・人件費 2,088 (0.26人)	[概算コスト] 3,680 (内訳) ・決算額 1,620 ・人件費 2,060 (0.26人)	[概算コスト] 3,631 (内訳) ・決算額 1,590 ・人件費 2,041 (0.26人)	[概算コスト] 3,810 (内訳) ・予算額 1,788 ・人件費 2,022 (0.26人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
公民館講座総数 (単位:講座)	[目標値] 436 [実績値] 436 <達成率> 100.0%	[目標値] 458 [実績値] 458 <達成率> 100.0%	[目標値] 453 [実績値] 453 <達成率> 100.0%	[目標値] 465 [実績値] 465 <達成率> 100.0%	公民館講座受講者数 (単位:人)	[目標値] 9,376 [実績値] 10,900 <達成率> 116.3%	[目標値] 9,515 [実績値] 10,961 <達成率> 115.2%	[目標値] 9,235 [実績値] 10,214 <達成率> 110.6%	[目標値] 10,326 [実績値] 10,326 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 市民の様々な学習ニーズや地域課題へ対応し、生涯学習の機会を提供する事業であり、必要である。
講座数 (単位:講座)	[目標値] 70 [実績値] 69 <達成率> 98.6%	[目標値] 70 [実績値] 68 <達成率> 97.1%	[目標値] 70 [実績値] 72 <達成率> 102.9%	[目標値] 75 [実績値] 75 <達成率> 100.0%	受講者数 (単位:人)	[目標値] 3,100 [実績値] 3,084 <達成率> 99.5%	[目標値] 3,100 [実績値] 3,297 <達成率> 106.4%	[目標値] 3,100 [実績値] 3,867 <達成率> 124.7%	[目標値] 4,000 [実績値] 4,000 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(18ページ)参照
女性学級開設数 (単位:学級)	[目標値] 79 [実績値] 65 <達成率> 82.3%	[目標値] 79 [実績値] 64 <達成率> 81.0%	[目標値] 79 [実績値] 64 <達成率> 81.0%	[目標値] 79 [実績値] 79 <達成率> 100.0%	女性学級への参加者数 (単位:人)	[目標値] 15,932 [実績値] 13,231 <達成率> 83.0%	[目標値] 15,519 [実績値] 13,970 <達成率> 90.0%	[目標値] 15,750 [実績値] 13,176 <達成率> 83.7%	[目標値] 15,750 [実績値] 15,750 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(19ページ)参照
補導参加人数 (単位:人)	[目標値] 4,100 [実績値] 3,823 <達成率> 93.2%	[目標値] 4,100 [実績値] 3,770 <達成率> 92.0%	[目標値] 4,100 [実績値] 3,733 <達成率> 91.0%	[目標値] 4,100 [実績値] 4,100 <達成率> 100.0%	補導少年数 (単位:人)	[目標値] 10,276 [実績値] 10,276 <達成率> 100.0%	[目標値] 9,581 [実績値] 9,581 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,949 [実績値] 8,949 <達成率> 100.0%	[目標値] — [実績値] — <達成率> —	A	A	継続 (理由) 補導少年数は減少傾向にあるが、本事業による補導活動をはじめとする諸活動は青少年犯罪の抑止力となっており、継続して実施すべきである。
研修会への参加者数 (単位:人)	[目標値] 744 [実績値] 453 <達成率> 60.9%	[目標値] 744 [実績値] 479 <達成率> 64.4%	[目標値] 744 [実績値] 440 <達成率> 59.1%	[目標値] 744 [実績値] 744 <達成率> 100.0%	地域(校区)における指導、活動回数 (単位:回)	[目標値] 3,348 [実績値] 2,710 <達成率> 80.9%	[目標値] 3,348 [実績値] 2,771 <達成率> 82.8%	[目標値] 3,348 [実績値] 2,907 <達成率> 86.8%	[目標値] 3,348 [実績値] 3,348 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 地域住民のスポーツレクリエーション活動の推進のためにスポーツ推進員の資質と指導力の向上を図ることは必要であるが、研修会への参加者数を増やすための取組が必要である。
スポーツ教室、体験講座等の開催回数 (単位:回)	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	スポーツ教室、体験講座等の参加者数 (単位:人)	[目標値] 900 [実績値] 719 <達成率> 79.9%	[目標値] 850 [実績値] 677 <達成率> 79.6%	[目標値] 885 [実績値] 693 <達成率> 78.3%	[目標値] 905 [実績値] 905 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 各自の体力に応じたトレーニング法や手軽に楽しめるスポーツなどを啓発・指導し、市民の健康・体力づくりに寄与する事業である。参加対象の幅を広げるなど参加者を増やすための工夫・改善が必要である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
37	ランニング桜島大会の開催	市民スポーツ課	イベント	○事業開始年度 昭和58年度 【概要】ランニング愛好者が一同に会し、交流と友情を深め、スポーツ振興を図るとともに地域の活性化も図る。 【対象者】県内外のランニング愛好者 【具体的な活動内容】 ・種目 5km、10km、ハーフマラソン ・期日 毎年、2月の最終日曜日に開催 ・場所 桜島溶岩ランニングコース(一般道路含む)	市単	[概算コスト] 3,606 (内訳) ・決算額 2,000 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 3,585 (内訳) ・決算額 2,000 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 3,570 (内訳) ・決算額 2,000 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 3,555 (内訳) ・予算額 2,000 ・人件費 1,555 (0.20人)
38	海洋性スポーツ事業	市民スポーツ課	その他	○事業開始年度 平成元年度 【概要】錦江湾を生かした事業として、ヨットの教室及び体験帆走やシーカヤック体験講座、また、海を楽しむマリンスポーツ体験講座を開催し海洋性スポーツの普及・振興を積極的に図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ヨット関係:ジュニア・初心者ヨット教室・ヨット体験帆走 シーカヤック関係:親子等の体験講座	市単	[概算コスト] 4,348 (内訳) ・決算額 2,742 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 4,240 (内訳) ・決算額 2,655 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 4,205 (内訳) ・決算額 2,635 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 4,323 (内訳) ・予算額 2,768 ・人件費 1,555 (0.20人)
39	海水浴場施設管理事業	市民スポーツ課	イベント	○事業開始年度 昭和25年度 (磯海水浴場) ○事業開始年度 合併時(平成16年度)に引継ぎ (生見水浴場) ○事業開始年度 合併時(平成16年度)に引継ぎ (西道水浴場) 【概要】7月～8月の間、磯、生見、西道の3つの海水浴場を開設し、マリンスポーツの普及、推進を積極的に図る。 【対象者】海水浴場利用者 【具体的な活動内容】 利用者が安全に利用するために遊泳区間の確保、監視員の配置、遊泳中の休憩所の設置、浜砂の購入等	市単	[概算コスト] 21,168 (内訳) ・決算額 19,562 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 22,193 (内訳) ・決算額 20,608 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 21,183 (内訳) ・決算額 19,613 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 22,835 (内訳) ・予算額 21,280 ・人件費 1,555 (0.20人)
40	市民生き生きスポーツフェスタの開催	市民スポーツ課	イベント	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】各種スポーツやレクリエーションの実践を通して、市民自らが健康づくりや体力づくりを進めることができるよう各種のスポーツ・レクリエーションイベントを開催する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・総合開会式(表彰、スポーツ講演会) ・生き生きカップ大会、体験種目	市単	[概算コスト] 4,528 (内訳) ・決算額 3,243 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 4,664 (内訳) ・決算額 3,396 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 4,107 (内訳) ・決算額 2,851 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 4,696 (内訳) ・予算額 3,452 ・人件費 1,244 (0.16人)
41	学校体育施設開放事業	市民スポーツ課	その他	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】日常生活圏内の身近なスポーツ・レクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲内で学校体育施設を開放する。 【対象者】鹿児島市に在住(在勤、在学)している者 【具体的な活動内容】 開放校:小学校78校、中学校37校、高校1校 計117校 開放施設:体育館、柔剣道場、運動場	市単	[概算コスト] 55,927 (内訳) ・決算額 52,795 ・人件費 3,132 (0.39人)	[概算コスト] 56,148 (内訳) ・決算額 53,058 ・人件費 3,090 (0.39人)	[概算コスト] 55,411 (内訳) ・決算額 52,350 ・人件費 3,061 (0.39人)	[概算コスト] 56,683 (内訳) ・予算額 53,650 ・人件費 3,033 (0.39人)
42	体育施設等整備事業	市民スポーツ課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成15年度 【概要】体育施設等(鹿児島アリーナ・鴨池公園野球場等・鴨池公園水泳プール・鴨池公園多目的屋内運動場・吉田文化体育センター等・桜島総合体育館等・喜入総合体育館等・郡山総合運動場等・松元平野岡体育館等・東開庭球場・鹿児島市民体育館・ビーチハウス)の施設整備並びに備品の整備を行い、施設の充実を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・ストックマネジメント事業対応・施設の改修及び修繕・備品購入	市単	[概算コスト] 101,387 (内訳) ・決算額 95,766 ・人件費 5,621 (0.70人)	[概算コスト] 173,974 (内訳) ・決算額 168,745 ・人件費 5,229 (0.66人)	[概算コスト] 225,766 (内訳) ・決算額 219,408 ・人件費 6,358 (0.81人)	[概算コスト] 223,837 (内訳) ・予算額 217,694 ・人件費 6,143 (0.79人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
広報活動のパンフレット配布枚数 (単位:枚)	[目標値] 20,000 [実績値] 19,000 <達成率> 95.0%	[目標値] 20,000 [実績値] 19,000 <達成率> 95.0%	[目標値] 20,000 [実績値] 19,500 <達成率> 97.5%	[目標値] 20,000	大会参加者数 (単位:人)	[目標値] 5,000 [実績値] 5,019 <達成率> 100.4%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,673 <達成率> 113.5%	[目標値] 5,300 [実績値] 5,262 <達成率> 99.3%	[目標値] 5,300	A	A	継続 (理由) 参加者数が高い水準で推移し、気軽に参加できる大会として定着しており継続して実施することが適当である。
海洋性スポーツ教室等の開催回数 (単位:回)	[目標値] 23 [実績値] 22 <達成率> 95.7%	[目標値] 23 [実績値] 22 <達成率> 95.7%	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 23	海洋性スポーツ教室等の参加者数 (単位:人)	[目標値] 800 [実績値] 701 <達成率> 87.6%	[目標値] 800 [実績値] 477 <達成率> 59.6%	[目標値] 800 [実績値] 696 <達成率> 87.0%	[目標値] 800	A	A	継続 (理由) 錦江湾を生かした海洋性スポーツの普及・振興を図ることは必要である。
開設期間 (単位:日)	[目標値] 137 [実績値] 137 <達成率> 100.0%	[目標値] 138 [実績値] 126 <達成率> 91.3%	[目標値] 143 [実績値] 124 <達成率> 86.7%	[目標値] 142	3海水浴場の利用者数 (単位:人)	[目標値] 50,000 [実績値] 46,614 <達成率> 93.2%	[目標値] 48,000 [実績値] 31,303 <達成率> 65.2%	[目標値] 45,000 [実績値] 24,537 <達成率> 54.5%	[目標値] 45,000	B	B	見直し (理由) ※外部評価シート(20ページ)参照
生き生きスポーツ・レクフェスタ種目数 (単位:種目)	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 27 <達成率> 96.4%	[目標値] 28	参加者数 (単位:人)	[目標値] 8,000 [実績値] 7,767 <達成率> 97.1%	[目標値] 8,000 [実績値] 7,583 <達成率> 94.8%	[目標値] 8,000 [実績値] 8,698 <達成率> 108.7%	[目標値] 8,000	A	A	継続 (理由) 市民の体力づくりを促進するとともに、スポーツ・レクリエーションに親しむきっかけづくり、スポーツ振興の功労者の顕彰など様々な役割を担っており、今後とも継続する必要がある。
年間の体育館・柔剣道場延べ開放日数 (単位:日)	[目標値] 25,000 [実績値] 26,956 <達成率> 107.8%	[目標値] 26,000 [実績値] 27,000 <達成率> 103.8%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,647 <達成率> 102.5%	[目標値] 26,000	年間延べ体育館・柔剣道場利用者人数 (単位:千人)	[目標値] 700 [実績値] 762 <達成率> 108.9%	[目標値] 750 [実績値] 730 <達成率> 97.3%	[目標値] 750 [実績値] 689 <達成率> 91.9%	[目標値] 750	A	A	継続 (理由) 市民が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむ場として、学校教育に支障のない範囲で学校施設を活用することは必要である。
所管施設数 (単位:施設件数)	[目標値] 27 [実績値] 27 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28	利用者数 (単位:人)	[目標値] 1,782,000 [実績値] 1,573,933 <達成率> 88.3%	[目標値] 1,782,000 [実績値] 1,769,396 <達成率> 99.3%	[目標値] 1,782,000 [実績値] 1,737,928 <達成率> 97.5%	[目標値] 1,782,000	A	A	継続 (理由) 市民が安全にスポーツに親しむことができる良好な環境を維持するため、計画的に整備を行うことは必要である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
43	新鴨池公園水泳プール整備・運営事業	市民スポーツ課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成16年度 【概要】鴨池公園水泳プールの老朽化に対応するため、PFI事業を活用して、民間事業者において設計、建設を行い、施設の管理、運営及び維持管理を行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】平成20年度 実施設計、解体工事 平成21～22年度 建設工事 平成23年度～ 供用開始、管理・運営・維持管理	市単	[概算コスト] 3,080,367 (内訳) ・決算額 3,067,519 ・人件費 12,848 (1.60人)	[概算コスト] 195,733 (内訳) ・決算額 194,069 ・人件費 1,664 (0.21人)	[概算コスト] 198,990 (内訳) ・決算額 198,107 ・人件費 883 (0.11人)	[概算コスト] 202,286 (内訳) ・予算額 201,022 ・人件費 1,264 (0.16人)
44	鹿児島芸術鑑賞事業	文化課	助成・育成	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】子どもたちの芸術文化への興味と関心を喚起するとともに、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。 【対象者】市内の児童生徒等 【具体的な活動内容】①学校巡回芸術劇場 ②芸術家派遣プロジェクト ③劇団四季ミュージカル観劇会 ④子どものための舞台芸術鑑賞	市単	[概算コスト] 21,086 (内訳) ・決算額 19,480 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 20,813 (内訳) ・決算額 19,228 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 21,543 (内訳) ・決算額 19,973 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 14,659 (内訳) ・予算額 13,104 ・人件費 1,555 (0.20人)
45	鹿児島市少年少女合唱団振興事業	文化課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】昭和48年12月に創設された鹿児島立少年合唱団を引き続き存続させ、本市の児童・生徒の音楽水準の向上に寄与する。 【対象者】鹿児島市立少年合唱団の隊員 【具体的な活動内容】・定期練習、特別練習の実施 ・定期演奏会の開催 ・各種式典、行事への参加 ・福祉施設への訪問演奏会	市単	[概算コスト] 3,118 (内訳) ・決算額 1,913 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 3,101 (内訳) ・決算額 1,913 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 3,090 (内訳) ・決算額 1,913 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 3,079 (内訳) ・予算額 1,913 ・人件費 1,166 (0.15人)
46	椋鳩十児童文学賞の実施	文化課	助成・育成	○事業開始年度 平成2年度 【概要】日本を代表する児童文学者椋鳩十氏の業績を顕彰するとともに、新たな児童文学者を発掘し、鹿児島を児童文学の情報発信の拠点とする。また、本市の文学振興を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】・椋鳩十児童文学賞作品募集及び表彰 ・椋鳩十児童文学賞受賞者との交流 ・子どもたちに聞かせたい創作童話作品募集及び表彰	市単	[概算コスト] 18,260 (内訳) ・決算額 12,237 ・人件費 6,023 (0.75人)	[概算コスト] 16,805 (内訳) ・決算額 12,843 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 17,404 (内訳) ・決算額 13,087 ・人件費 4,317 (0.55人)	[概算コスト] 17,468 (内訳) ・予算額 13,191 ・人件費 4,277 (0.55人)
47	市民文化活動推進事業	文化課	助成・育成	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】市民文化のより一層の振興を図るため、市民の文化団体による日頃の活動成果の発表の場を提供するとともに、市民による芸術鑑賞の機会として市民文化祭を開催するとともに、本市の伝統芸能に対する理解と関心を高めるため、ふるさと芸能祭を開催する。また、本市の文化振興に寄与する各種事業を共催し、その経費を助成する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】《主催事業》・鹿児島市ふるさと芸能祭 《共催事業》・鹿児島市民文化祭 ・文化団体との共催事業(7団体)	市単	[概算コスト] 6,646 (内訳) ・決算額 5,843 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 6,225 (内訳) ・決算額 5,433 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 6,198 (内訳) ・決算額 5,413 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 6,922 (内訳) ・予算額 6,144 ・人件費 778 (0.10人)
48	歴史・文化資産のデジタル化推進事業	文化課	啓発・広報	○事業開始年度 平成12年度 【概要】本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を世界に向けて発信。 【対象者】鹿児島市民を中心とする利用希望者(アメリカ等海外からの利用も多い) 【具体的な活動内容】鹿児島市地域情報化計画に基づき、市立美術館、かごしま近代文学館・メルヘン館などに収蔵されている本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を広く発信する。	市単	[概算コスト] 5,088 (内訳) ・決算額 1,234 ・人件費 3,854 (0.48人)	[概算コスト] 2,367 (内訳) ・決算額 1,892 ・人件費 475 (0.06人)	[概算コスト] 2,496 (内訳) ・決算額 2,025 ・人件費 471 (0.06人)	[概算コスト] 2,782 (内訳) ・予算額 2,315 ・人件費 467 (0.06人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
自主提案教室数 (単位:教室)	[目標値] 50 [実績値] 24 <達成率> 48.0%	[目標値] 50 [実績値] 24 <達成率> 48.0%	[目標値] 50 [実績値] 36 <達成率> 72.0%	[目標値] 50	利用者数 (単位:人)	[目標値] 139,600 [実績値] 146,294 <達成率> 104.8%	[目標値] 139,600 [実績値] 156,370 <達成率> 112.0%	[目標値] 139,600	[目標値] 139,600	A	A	継続 (理由) PFI事業により整備・運営しているものであり、自主提案教室数、利用者数とも順調に推移している。
実施回数 (単位:回)	[目標値] 50 [実績値] 68 <達成率> 136.0%	[目標値] 50 [実績値] 69 <達成率> 138.0%	[目標値] 50 [実績値] 76 <達成率> 152.0%	[目標値] 50	鑑賞者数 (単位:人)	[目標値] 24,500 [実績値] 26,125 <達成率> 106.6%	[目標値] 24,500 [実績値] 27,107 <達成率> 110.6%	[目標値] 24,500	[目標値] 24,500	A	A	継続 (理由) 児童生徒が質の高い芸術文化に触れる機会を設け、豊かな情操を育むことに繋がることから、今後とも継続すべきである。
合唱団員数 (単位:人)	[目標値] 30 [実績値] 46 <達成率> 153.3%	[目標値] 30 [実績値] 41 <達成率> 136.7%	[目標値] 30 [実績値] 33 <達成率> 110.0%	[目標値] 30	公演活動数 (単位:件)	[目標値] 5 [実績値] 10 <達成率> 200.0%	[目標値] 5 [実績値] 9 <達成率> 180.0%	[目標値] 5	[目標値] 5	A	B	見直し (理由) 運営をNPO法人に委託するなど改善に努めてきているが、民間でも同様の取組があることなどから、公設の合唱団としてのあり方について検討が必要である。
応募作品数 (単位:点)	[目標値] 40 [実績値] 41 <達成率> 102.5%	[目標値] 40 [実績値] 31 <達成率> 77.5%	[目標値] 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5%	[目標値] 40	棕鳩十の業績顕彰及び児童文学者の発掘	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	B	B	見直し (理由) ※外部評価シート(21ページ)参照
ふるさと芸能祭及び市民文化祭の参加団体数 (単位:団体)	[目標値] 20 [実績値] 21 <達成率> 105.0%	[目標値] 20 [実績値] 21 <達成率> 105.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20	ふるさと芸能祭及び市民文化祭の鑑賞者数 (単位:人)	[目標値] 9,500 [実績値] 9,861 <達成率> 103.8%	[目標値] 9,500 [実績値] 9,935 <達成率> 104.6%	[目標値] 9,500	[目標値] 9,500	A	A	継続 (理由) 本市の伝統芸能に対する関心を高め、市民文化の一層の振興を図るため、地元の芸術家や文化団体を育成し活動成果の発表の場を提供するとともに、市民の芸術鑑賞の機会を創出する本事業は必要である。
コンテンツ登録数 (単位:件)	[目標値] 4,272 [実績値] 4,227 <達成率> 98.9%	[目標値] 4,318 [実績値] 4,227 <達成率> 97.9%	[目標値] 4,363 [実績値] 4,343 <達成率> 99.5%	[目標値] 4,409	アクセス数 (単位:件)	[目標値] 35,000 [実績値] 33,714 <達成率> 96.3%	[目標値] 54,500 [実績値] 55,180 <達成率> 101.2%	[目標値] 55,000	[目標値] 55,500	A	A	継続 (理由) 本市の歴史・文化資産等をデータベース化し、インターネットで広く情報発信することは、教育のみならず観光等の面からも必要である。引き続き、内容の充実、見やすさの向上に努める必要がある。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
49	近代文学館・メルヘン館管理運営事業	文化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成9年度 【概要】 かがしま近代文学館・メルヘン館の管理運営に要する経費 【対象者】 全市民及び施設利用者 【具体的な活動内容】 近代文学館:資料収集対象作家の資料を、年次的かつ継続的に収集する。特別企画展では、館ゆかりの展示作家等の資料を一堂に集めて、作品や作家の人となりを紹介し、併せて収蔵品も展示する。また、企画展の開催や、文学講演会、文学創作講座等の多彩な事業を行う。 メルヘン館:特色ある施設である親子読書コーナーの図書や上映ビデオ等の補充、充実を図る。特別企画展では、絵本の世界を親子で楽しめる展示を行う。また、えほんのじかん等の多彩な事業を行う。	市単	[概算コスト] 110,985 (内訳) ・決算額 108,977 ・人件費 2,008 (0.25人) ※休館期間有	[概算コスト] 175,071 (内訳) ・決算額 173,090 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 166,670 (内訳) ・決算額 164,708 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 181,724 (内訳) ・予算額 179,780 ・人件費 1,944 (0.25人)
50	自主文化事業補助事業	文化課	助成・育成	○事業開始年度 昭和58年度 【概要】 市民の文化芸術鑑賞の機会充実を図り、豊かな心が育つ香り高い文化のまちづくりを進めるため、(公財)かがしま教育文化振興財団が実施する自主文化事業に対する補助を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 鹿児島市民文化ホール及び谷山サザンホールを会場として、商業ベースでは誘致が困難なオーケストラやオペラなどの大規模な舞台芸術、能や狂言などと古典芸能、室内楽や舞踊など幅広いジャンルから知名度や話題性を考慮して、年に5公演程度の鑑賞事業を行ってきた。なお、平成25年度は、5公演の実施を予定している。	市単	[概算コスト] 20,402 (内訳) ・決算額 20,000 ・人件費 402 (0.05人)	[概算コスト] 20,396 (内訳) ・決算額 20,000 ・人件費 396 (0.05人)	[概算コスト] 20,392 (内訳) ・決算額 20,000 ・人件費 392 (0.05人)	[概算コスト] 20,389 (内訳) ・予算額 20,000 ・人件費 389 (0.05人)
51	市民文化ホール施設設備等整備事業	文化課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】 市民文化ホールの施設を整備し、充実を図る。 【対象者】 市民文化ホール利用者、市民 【具体的な活動内容】 ストックマネジメントの保全計画等に基づき、年次的に整備を行った。 22年度 空気調和設備改修工事、舞台機構装置昇降マシン外取替工事等 23年度 外壁補修工事、舞台機構装置ワイヤー外取替工事等 24年度 受変電設備改修工事、舞台機構装置ワイヤー外取替工事等 25年度 空気調和機整備工事、舞台機構装置ワイヤー外取替工事等	市単	[概算コスト] 437,596 (内訳) ・決算額 434,384 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 83,084 (内訳) ・決算額 81,103 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 113,526 (内訳) ・決算額 111,564 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 65,301 (内訳) ・予算額 63,357 ・人件費 1,944 (0.25人)
52	美術館企画展等の開催	美術館	イベント	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】特別企画展・小企画展の開催 【対象者】全市民及び市外観光客 【具体的な活動内容】 特別企画展(年2~3回)及び小企画展(年4~6回)の開催 蔵出し美術館(年2回)の開催	市単	[概算コスト] 8,052 (内訳) ・決算額 3,957 ・人件費 4,095 (0.51人)	[概算コスト] 48,386 (内訳) ・決算額 38,878 ・人件費 9,508 (1.20人)	[概算コスト] 36,380 (内訳) ・決算額 28,609 ・人件費 7,771 (0.99人)	[概算コスト] 59,364 (内訳) ・予算額 46,689 ・人件費 12,675 (1.63人)
53	美術館施設整備事業	美術館	施設維持・管理	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 ストックマネジメントに基づく年次整備計画を策定し、計画的に施設整備を進め、親しみのある空間づくりを行う。 【対象者】 美術館来館者 【具体的な活動内容】 23年度 可動式展示パネル(企画展示室)、空調設備等の改修 24年度 非常用放送設備、空調設備の改修 25年度 可動式展示パネル(一般展示室)、防犯監視装置の改修及び外壁調査	市単	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 25,105 (内訳) ・決算額 24,154 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 49,708 (内訳) ・決算額 48,766 ・人件費 942 (0.12人)	[概算コスト] 73,546 (内訳) ・予算額 72,613 ・人件費 933 (0.12人)
54	美術教育普及活動の充実	美術館	助成・育成	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】美術教室の開催、美術講演会の開催 アートライブラリーの充実 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 美術教室を年7~9回、美術講演会を年1~2回開催 ライブラリー書籍等の充実	市単	[概算コスト] 4,266 (内訳) ・決算額 1,375 ・人件費 2,891 (0.36人)	[概算コスト] 3,857 (内訳) ・決算額 1,242 ・人件費 2,615 (0.33人)	[概算コスト] 3,671 (内訳) ・決算額 1,081 ・人件費 2,590 (0.33人)	[概算コスト] 4,070 (内訳) ・予算額 1,504 ・人件費 2,566 (0.33人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
利用者数 (単位:人)	[目標値] 40,000 [実績値] 36,312 <達成率> 90.8% ※休館期間有	[目標値] 200,000 [実績値] 212,395 <達成率> 106.2%	[目標値] 200,000 [実績値] 208,378 <達成率> 104.2%	[目標値] 200,000	有料利用者数 (単位:人)	[目標値] 10,172 [実績値] 7,355 <達成率> 72.3% ※休館期間有	[目標値] 54,905 [実績値] 79,448 <達成率> 144.7%	[目標値] 61,805 [実績値] 66,027 <達成率> 106.8%	[目標値] 61,805	A	A	継続 (理由) 両館ともに各種講座やイベント等を開催するなど多彩な事業実施に努めており、リニューアル効果等による増減はあるものの、利用者数等はおおむね順調に推移している。
鑑賞事業の開催回数 (単位:回)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 6 <達成率> 120.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 5	入場者数 (単位:人)	[目標値] 5,891 [実績値] 5,051 <達成率> 85.7%	[目標値] 4,615 [実績値] 5,178 <達成率> 112.2%	[目標値] 6,155 [実績値] 5,699 <達成率> 92.6%	[目標値] 5,358	A	A	継続 (理由) 芸術性の高い舞台芸術の鑑賞機会を市民に提供することを通じて本市の文化振興に寄与するものであり、継続が妥当である。
改修工事発注件数 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 3	ホール等の良好な管理及び設備の維持	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 市民文化ホールは開館から30年が経過し、施設設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に整備を行い、良好な施設環境の維持を図っていく必要がある。
特別企画展・小企画展等の回数 (単位:回)	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 10	特別企画展・小企画展等の観覧者数 (単位:人)	[目標値] 10,000 [実績値] 12,851 <達成率> 128.5%	[目標値] 40,000 [実績値] 38,702 <達成率> 96.8%	[目標値] 30,000 [実績値] 27,852 <達成率> 92.8%	[目標値] 40,000	A	A	継続 (理由) 市民の芸術文化の向上のために、鑑賞機会の少ない国内外の優れた美術品を展示する本事業は必要である。
工事件数 (単位:件)	[目標値]	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 3	利用者の安全確保や利便性の向上、美術品の展示環境の向上	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 美術館は開館から28年が経過し、施設設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に整備を行い、美術品の展示環境の向上や利用者の利便性の向上等を図っていく必要がある。
美術教室、講演会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 11 <達成率> 91.7%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 12	美術教室、講演会の参加者数 (単位:人)	[目標値] 220 [実績値] 232 <達成率> 105.5%	[目標値] 220 [実績値] 227 <達成率> 103.2%	[目標値] 220 [実績値] 272 <達成率> 123.6%	[目標値] 220	A	A	継続 (理由) 美術教室や美術講演会の開催等の取組は、美術に対する市民の関心と理解を深め、開かれた美術館の運営を推進するために必要な事業である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
55	市民作品公募展開催事業	美術館	助成・育成	○事業開始年度 平成17年度 【概要】市民公募展の開催 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】市民の創作した作品を幅広く公募し、無審査で展示観覧者の人気投票により表彰する。	市単	[概算コスト] 860 (内訳) ・決算額 619 ・人件費 241 (0.03人)	[概算コスト] 935 (内訳) ・決算額 697 ・人件費 238 (0.03人)	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 815 (内訳) ・予算額 582 ・人件費 233 (0.03人)
56	生涯学習プラザ・男女共同参画センター設備改修事業	生涯学習課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成23年度 平成22年度まで管理運営費の需用費から支出していたが、23年度からは整備事業として必要な業務委託や施設修繕等を行っている。 【概要】平成13年1月の開館から約10年が経過し、施設の設備等に不具合が生じている。また、新たな規格に対応していないことにより、利用できない設備等が多数あるため、設備の改修を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】舞台映像設備、舞台音響設備、情報活用セミナー室設備、マルチメディア学習室設備、研修室映像設備、その他館内設備及び備品購入	市単	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 4,845 (内訳) ・決算額 2,490 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 3,670 (内訳) ・決算額 1,315 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 18,713 (内訳) ・予算額 16,380 ・人件費 2,333 (0.30人)
57	集会所整備事業	生涯学習課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成22年度 【概要】小野中福良集会所及び小松原一丁目集会所の保全修理及び整備 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】集会所の施設修繕や備品の買い替え及び施設改修のための委託料 ・22年度:小松原一丁目集会所の耐震診断実施 ・24年度:小松原一丁目集会所のエアコンの修繕	市単	[概算コスト] 836 (内訳) ・決算額 756 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 346 (内訳) ・決算額 268 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 358 (内訳) ・予算額 280 ・人件費 78 (0.01人)
58	勤労女性センター施設整備事業	生涯学習課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成11年度 【概要】勤労女性センターの保全修理及び整備 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】勤労女性センターの施設修繕や備品の買い替え及び施設改修のための委託料等 ・22年度:外壁調査、受変電設備改修、印刷機購入等 ・23年度:空調設備修繕、冷蔵庫購入等 ・24年度:テレビアンテナの取替、加圧給水装置の撤去等	市単	[概算コスト] 7,336 (内訳) ・決算額 7,256 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 13,478 (内訳) ・決算額 13,399 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 1,675 (内訳) ・決算額 1,597 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 411 (内訳) ・予算額 333 ・人件費 78 (0.01人)
59	かごしま文化工芸村施設整備事業	生涯学習課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成23年度 平成22年度まで管理運営費の需用費から支出していたが、23年度から整備事業(新規事業)を創設し、整備改修に必要な業務委託や施設修繕等を行っている。 【概要】かごしま文化工芸村の開所後、経年による不具合等が発生しているため、それらの施設の改修を行う。 【対象者】工芸村来所者 【具体的な活動内容】かごしま文化工芸村の設備改修や施設修繕、備品購入等 ・23年度:渡廊下の屋根設置等 ・24年度:誘導灯バッテリー交換、留守番電話機能設置等	市単	[概算コスト] — (内訳) ・決算額 — ・人件費 —	[概算コスト] 3,172 (内訳) ・決算額 399 ・人件費 2,773 (0.35人)	[概算コスト] 2,922 (内訳) ・決算額 175 ・人件費 2,747 (0.35人)	[概算コスト] 3,193 (内訳) ・予算額 394 ・人件費 2,799 (0.36人)
60	生涯学習推進懇話会運営事業	生涯学習課	調査・研究	○事業開始年度 平成15年度 【概要】本市の生涯学習に関する施策を推進するにあたり、学識経験者等の意見を反映させる。 【対象者】大学関係者、社会教育関係者等15人 【具体的な活動内容】年間2回の会議を開催し、設定したテーマに対して、意見等を述べる。 22年度テーマ:「生涯学習の推進と地域の活性化をはかるために」 23年度テーマ:「少子・高齢化社会におけるこれからの生涯学習の推進」 24年度テーマ:「これからの生涯学習推進方策について」	市単	[概算コスト] 1,836 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 1,815 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 1,800 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 1,855 (内訳) ・予算額 300 ・人件費 1,555 (0.20人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
市民公募展の開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	市民公募展の応募点数 (単位:点)	[目標値] 100 [実績値] 133 <達成率> 133.0%	[目標値] 100 [実績値] 93 <達成率> 93.0%	[目標値] 100 [実績値] 93 <達成率> 93.0%	[目標値] 100 [実績値] 93 <達成率> 93.0%	B	B	見直し (理由) ※外部評価シート(22ページ)参照
設備改修箇所数 (単位:箇所)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 5 <達成率> 83.3%	[目標値] 6 [実績値] 5 <達成率> 83.3%	施設の機能維持・向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 生涯学習プラザは本市の生涯学習の拠点であり、利用者の活動に支障のないよう設備等を良好な状態に保つ必要がある。
整備件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	施設の機能維持・向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 両集会所は、住民の社会教育活動等の場として活用されていることから、利用者の活動に支障のないよう施設設備等を良好な状態に保つ必要がある。
整備件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	施設の機能維持・向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 勤労女性センターは、勤労女性をはじめ多くの市民の生涯学習の場であり、利用者の活動に支障のないよう施設設備等を良好な状態に保つ必要がある。
整備件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	施設の機能維持・向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) かごしま文化工芸村は、創作活動を通じて市民同士の交流や生きがいづくりを図る施設であり、利用者の活動に支障のないよう設備等を良好な状態に保つ必要がある。
開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	生涯学習施策への意見反映	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 本市の生涯学習に関する施策を推進するにあたり、学識経験者等の意見を反映させることは必要である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
61	生涯学習プラザ事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度 【概要】市民が社会生活を営む上で必要な課題解決をするための高度で専門的な学習機会を提供し、社会の変化に主体的に対応できる市民を育成する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】生涯学習プラザ講座の開設	市単	[概算コスト] 3,764 (内訳) ・決算額 2,961 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 3,599 (内訳) ・決算額 2,807 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,843 (内訳) ・決算額 3,058 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 4,262 (内訳) ・予算額 3,484 ・人件費 778 (0.10人)
62	高齢者いきいき元気塾開催事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 平成19年度まで「高齢者講座」として開設していたものを、「高齢者いきいき元気塾講座」として、①健康づくり講座、②生きがいつくり講座、③社会参画講座、④情報化社会への対応講座の4つの視点から新たに開設 【概要】市民にとって身近な生涯学習施設である地域公民館並びに生涯学習プラザにおける高齢者向けの講座を体系的に開設する。 【対象者】おおよそ60歳以上の市民 【具体的な活動内容】高齢者向け講座の体系的な実施 ・健康づくり、生きがいつくり、社会参画、情報化社会への対応など	市単	[概算コスト] 8,221 (内訳) ・決算額 6,294 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 7,881 (内訳) ・決算額 5,979 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 7,594 (内訳) ・決算額 5,710 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 8,212 (内訳) ・予算額 6,346 ・人件費 1,866 (0.24人)
63	サンエールフェスタ開催事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 平成24年度 (平成23年度までは「生涯学習フェスティバル開催事業」) 【概要】「“豊かさ”実感都市・かごしま」を目指し、本市の生涯学習の推進と男女共同参画社会の実現に向けて、市民相互の情報発信や交流を図る場とする。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・講演会の開催(生涯学習関連、男女共同参画関連) ・フォーラム ・生涯学習活動の成果発表 ・生涯学習作品展示	市単	[概算コスト] 5,269 (内訳) ・決算額 2,378 ・人件費 2,891 (0.36人)	[概算コスト] 5,143 (内訳) ・決算額 2,291 ・人件費 2,852 (0.36人)	[概算コスト] 5,029 (内訳) ・決算額 2,203 ・人件費 2,826 (0.36人)	[概算コスト] 5,647 (内訳) ・予算額 2,848 ・人件費 2,799 (0.36人)
64	生涯学習情報システム利便性向上事業	生涯学習課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成20年度 【概要】市民の生涯学習活動がこれまで以上に活発に展開されるよう、情報システムの改修や、機器の更新などの機能の充実を図る 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 公民館やスポーツ施設の業務端末の更新 ・22年度 業務端末更新 5台 ・23年度 業務端末更新 13台 ・24年度 業務端末更新 5台	市単	[概算コスト] 1,418 (内訳) ・決算額 615 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 7,009 (内訳) ・決算額 6,217 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,252 (内訳) ・決算額 467 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 3,692 (内訳) ・予算額 2,914 ・人件費 778 (0.10人)
65	移動図書館事業	図書館	その他	○事業開始年度 平成2年度 【概要】市立図書館や公民館図書室から遠距離又は交通事情により図書館等を利用しにくい地域の住民のために、移動図書館車で巡回し、図書の貸出サービスを行う。 【対象者】地域の団体及び一般市民 【具体的な活動内容】 移動図書館車2台で、各ステーションを約2週間に1回の割合で巡回する。年間巡回日数約160日。 ・ステーション数60箇所 ・「移動図書館おはなし会」年1回小学校等で開催	市単	[概算コスト] 8,430 (内訳) ・決算額 8,350 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 7,198 (内訳) ・決算額 7,119 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 7,113 (内訳) ・決算額 7,035 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 7,165 (内訳) ・予算額 7,087 ・人件費 78 (0.01人)
66	図書館資料の充実(資料整備)	図書館	その他	○事業開始年度 平成2年度 【概要】市民の多種多様な知的ニーズに応えるため、図書館資料の整備充実を図る。 【対象者】図書館等利用者 【具体的な活動内容】 資料収集方針に基づき、図書館・公民館図書室の図書資料を収集する。	市単	[概算コスト] 70,357 (内訳) ・決算額 70,277 ・人件費 80 (0.01人)	[概算コスト] 92,181 (内訳) ・決算額 92,102 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 70,580 (内訳) ・決算額 70,502 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 70,134 (内訳) ・予算額 70,056 ・人件費 78 (0.01人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
生涯学習 プラザ講座 数 (単位:講座)	[目標値] 34 [実績値] 34 <達成率> 100.0%	[目標値] 34 [実績値] 34 <達成率> 100.0%	[目標値] 35 [実績値] 35 <達成率> 100.0%	[目標値] 36 [実績値] 35 <達成率> 100.0%	生涯学習 プラザ講座 受講者数 (単位:人)	[目標値] 708 [実績値] 717 <達成率> 101.3%	[目標値] 696 [実績値] 715 <達成率> 102.7%	[目標値] 688 [実績値] 686 <達成率> 99.7%	[目標値] 762 [実績値] 686 <達成率> 99.7%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(23ページ)参照
公民館・生涯学習 プラザ講座数 (単位:講座)	[目標値] 106 [実績値] 106 <達成率> 100.0%	[目標値] 110 [実績値] 110 <達成率> 100.0%	[目標値] 107 [実績値] 107 <達成率> 100.0%	[目標値] 109 [実績値] 109 <達成率> 100.0%	公民館・生涯学習 プラザ講座受 講者数 (単位:人)	[目標値] 2,190 [実績値] 2,551 <達成率> 116.5%	[目標値] 2,227 [実績値] 2,613 <達成率> 117.3%	[目標値] 2,189 [実績値] 2,183 <達成率> 99.7%	[目標値] 2,592 [実績値] 2,183 <達成率> 99.7%	A	A	継続 (理由) 地域公民館及び生涯学習プラザにおいて高齢者向け講座を体系的に開設し、多様な学習機会を提供することは、高齢者の生きがいづくりや現代的課題への対応を支援するために必要である。
開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 6,000 [実績値] 5,798 <達成率> 96.6%	[目標値] 6,000 [実績値] 5,534 <達成率> 92.2%	[目標値] 6,000 [実績値] 7,632 <達成率> 127.2%	[目標値] 7,000 [実績値] 7,632 <達成率> 109.0%	A	A	継続 (理由) 平成24年度から「サンエールフェスタ」として関係課と連携して開催しており、参加者数も増加傾向にある。今後とも、市民の生涯学習に関する情報発信、交流の場として必要である。
機器更新 数 (単位:台)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 5 <達成率> 71.4%	キョウトピ アネットア クセス数 (単位:件)	[目標値] 270,000 [実績値] 273,464 <達成率> 101.3%	[目標値] 270,000 [実績値] 264,816 <達成率> 98.1%	[目標値] 270,000 [実績値] 272,741 <達成率> 101.0%	[目標値] 270,000 [実績値] 272,741 <達成率> 101.0%	A	A	継続 (理由) 生涯学習情報システムは、市の生涯学習・スポーツ・公園施設の照会や申込み等を集約しており、システムの改修や機器の更新等による機能の充実を図ることは必要である。
1か所あたりの移動 図書館巡回回数 (単位:回)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	年間貸出 冊数 (単位:冊)	[目標値] 62,000 [実績値] 60,508 <達成率> 97.6%	[目標値] 62,000 [実績値] 56,675 <達成率> 91.4%	[目標値] 62,000 [実績値] 62,643 <達成率> 101.0%	[目標値] 62,000 [実績値] 62,643 <達成率> 101.0%	A	A	継続 (理由) 図書館や公民館図書室を利用しにくい地域の読書環境を整えることは生涯学習の充実に寄与するものであり、引き続き実施する必要がある。
購入冊数 (単位:冊)	[目標値] 36,567 [実績値] 36,567 <達成率> 100.0%	[目標値] 49,859 [実績値] 49,859 <達成率> 100.0%	[目標値] 37,215 [実績値] 37,215 <達成率> 100.0%	[目標値] 37,000 [実績値] 37,215 <達成率> 100.6%	年間貸出 冊数 (単位:冊)	[目標値] 850,000 [実績値] 865,578 <達成率> 101.8%	[目標値] 850,000 [実績値] 844,403 <達成率> 99.3%	[目標値] 900,000 [実績値] 940,023 <達成率> 104.4%	[目標値] 900,000 [実績値] 940,023 <達成率> 104.4%	A	A	継続 (理由) 市民の多種多様な知的ニーズに対応するため、引き続き図書資料の整備充実を図る必要がある。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						22年度	23年度	24年度	25年度
67	鹿児島市結婚相談所	青少年課	その他	<p>○事業開始年度 昭和36年度</p> <p>【概要】市民の相談に応じて結婚のあっせんを行うとともに、健全な結婚思想の普及を図る。</p> <p>【対象者】鹿児島市内に居住、もしくは勤務している独身の方</p> <p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚の紹介及びあっせんに関すること ・健全な結婚思想の普及に関すること ・その他結婚相談に関すること 	市単	[概算コスト] 9,136 (内訳) ・決算額 7,530 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 9,348 (内訳) ・決算額 7,763 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 9,328 (内訳) ・決算額 7,758 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 9,454 (内訳) ・予算額 7,899 ・人件費 1,555 (0.20人)

【評価区分】

- A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
- B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
- C: 統合 事業の統合を検討すべき
- D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

- E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
- F: 廃止 制度自体を廃止すべき
- G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
登録者数 (単位:人)	[目標値] 750 [実績値] 647 <達成率> 86.3%	[目標値] 750 [実績値] 637 <達成率> 84.9%	[目標値] 750 [実績値] 597 <達成率> 79.6%	[目標値] 750	婚約成立者数 (単位:人)	[目標値] 30 [実績値] 26 <達成率> 86.7%	[目標値] 30 [実績値] 22 <達成率> 73.3%	[目標値] 30 [実績値] 26 <達成率> 86.7%	[目標値] 30	B	F	廃止 (理由) ※外部評価シート(24ページ)参照

Ⅲ 参考資料

1 教育委員会の活動状況

(1) 委員選任状況

職名	氏名	職業	在任期間	委員就任年月日
委員長	窪 蘭 修	医師	平 24. 7. 14 ～ 平 28. 7. 13	平 17. 4. 1 3 期目
委員長 職務代理者	津 曲 貞 利	会社役員	平 23. 7. 19 ～ 平 27. 7. 18	平 19. 7. 19 2 期目
委員	高 島 まり子	大学教授	平 23. 7. 19 ～ 平 27. 7. 18	平 19. 7. 19 2 期目
委員	桃 木 野 聡	弁護士	平 22. 6. 30 ～ 平 26. 6. 29	平 22. 6. 30 1 期目
教育長	石 踊 政 昭	教育長	平 25. 7. 1 ～ 平 29. 6. 30	平 17. 7. 1 3 期目

※ 教育委員（教育長を含む。）の任期は4年。

(2) 会議の開催状況（平成 24 年度実績）

定例会	12回（毎月1回）
臨時会	2回

(3) 審議状況

ア 付議案件数

議案	64件
報告	55件
協議	3件

イ 会議に付された主な案件

- ① 教育委員会規則の制定又は改廃の件
- ② 教育委員会事務局等の職員の任免の件
- ③ 教育委員会活動の点検・評価の件
- ④ 市議会に提出する条例改正や予算等の議案についての意見に関する件
- ⑤ 学校職員の懲戒処分の件
- ⑥ 市立高等学校学科別募集定員を定める件
- ⑦ 教科書採択の件
- ⑧ 審議会委員の委嘱又は解嘱の件
- ⑨ 指定文化財の指定に関する件
- ⑩ 社会体育功労者等の表彰の件

(4) 学校訪問等

ア 学校訪問

教育現場の状況を教育委員が直接見聞する機会として、24年度は学校等を3回訪問し、同時に教育委員会定例会を開催している。

(ア) 5月には、皇徳寺中学校を訪問し、武道（柔道、剣道）等の授業参観、保護者との意見交換の後、同校の第一音楽室で定例会を開催した。

(イ) 1月には、かごしま文化工芸村を訪問し、施設長による概要説明や木工芸アトリエにおいて実際に制作している様子などを視察した後、自由工房で定例会を開催した。

(ウ) 2月には、黒神中学校を訪問し、授業参観、学校からの防災教育の説明、保護者との意見交換の後、同校の音楽室で定例会を開催した。

イ 学校長面接

教育委員が個々の学校現場における現状や課題等を認識・理解する機会として、28校の学校長の面接を実施した。

ウ 事務局との意見交換

教育委員が各種施策の現状について理解を深めるとともに、教育委員の考えを施策に生かすことを目的に、24年度は教職員の多忙化・サービス指導や生徒指導の充実等をテーマに、事務局との意見交換を10回実施した。

2 鹿児島市教育振興基本計画に掲げた数値目標の達成状況

(1) 道徳心や社会性を養い、心身ともにたくましい子どもを育成する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
道徳に関する校内研修の実施率 (%)	小 42.3 中 56.4	小 37.2 中 66.7	小 46.2 中 56.4			小 50 中 70
人権教育に関する校内研修の実施率 (%)	100	100	100			100
不登校児童生徒の出現率(%)	小 0.20 中 2.87	小 0.21 中 2.84	小 0.23 中 2.70			小 0.20 中 2.33
心のパートナー登録者数(人)	36	63	76			45
講師招へいを伴う体育の校内研修 等回数(回)	26	27	30			30
小児生活習慣病予防検診の受診率 (%)	51	50	48			60
学校給食への地場産物の活用率 (%)	61	60	66			65
あいご講座の参加者数(人)	4,350	4,042	3,861			4,000
1か月の読書量(冊)	小 19.6 中 5.9	小 20.8 中 6.4	小 22.3 中 6.7			小 19 中 6

(2) 「確かな学力」を持ち、個性あられる子どもを育成する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
幼・小連携研修会への指導主事の派遣率(%)	40	90	95			75
学習の手引の作成率(%)	小 97.4 中 84.6	小 97.4 中 94.9	小 98.7 中 94.9			100
市立高校生の就職率(%)	100	100	100			100
ガイド学習の手引の作成率(%)	80	89	91			100
特別支援教育に係る個別の指導計画の作成率(%)	94	92	93			100
特別支援教育に係る個別の教育支援計画の作成率(%)	66	78	80			100
教育の情報化に係る校内研修の実施率(%)	100	100	100			100
郷土教育に係る体験活動の実施率(%)	小 100 中 94.9	100	100			100
ALTの活用時数(時間)	16.7	18.7	19.8			25
環境教育に係る体験活動の実施率(%)	小 100 中 89.7	100	100			100
消費者教育に係る全体指導計画の作成率(%)	81.2	100	100			100

(3) 信頼される開かれた学校教育を推進する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
学校経営に係るランドデザイン作成率(%)	100	100	100			100
授業の実施率(%) (教育課程の完全実施)	100	100	100			100
学校関係者評価結果の公表率(%)	97	98	100			100
校内研修への指導主事等の派遣回数(回)	小 349 中 127	小 458 中 206	小 491 中 215			小 350 中 150
AED取扱を含めた心肺蘇生法講習会受講率(%)	72.2	70.0	74.2			60
学校施設の耐震化率(%)	小中 98.6 高 97.1	100	100			100
学校支援ボランティア事業の実施率(%)	35.9	46.2	52.1			100
教育委員会委員と事務局との意見交換の割合(%)	14.3	42.9	71.4			100
学校規模に係る保護者や地域住民等の意向の把握(回)	—	—	—			1

(4) 家庭や地域の教育力を高め、社会全体で人づくりを進める

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
家庭教育学級実施校数(校)	117	117	117			117
学校支援ボランティア数(人)	4,063	5,058	6,277			6,000
校区公民館年間平均利用者数(人)	3,859	3,797	3,828			4,000
青色回転灯パトロール出動回数(回)	671	807	803			650
携帯電話フィルタリング利用率(%)	小 35.3 中 51.1	小 44.0 中 55.3	小 53.9 中 53.5			小 90 中 90

(5) スポーツや文化の振興を図るとともに、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりに努める

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	39.4 (H21)	—	38.0 (H23)			50
県民体育大会競技種目の優勝種目割合(%)	38.4	46.1	51.3			50
市民文化祭等への参加者数(人)	35,690	36,708	38,429			40,000
市内の文化財の指定等件数(件)	179	182	182			190
市民1人当たりの生涯学習プラザと地域公民館の利用状況(回)	2.6	2.6	2.2			2.7

教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理及び執行の状況について自ら実施する点検及び評価に関し、必要な事項を定めるものとする。

(評価の基本的なあり方)

第2条 教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、的確にその施策効果を把握し、その目的又は目標に照らして、必要性、有効性、効率性、公平性の観点その他当該施策の特性に応じて必要な観点から点検及び評価を行い、その評価の結果を当該施策に適切に反映させるものとする。

2 教育委員会は、前項の規定に基づく点検及び評価の実施に当たっては、客観的な実施の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用する。

3 前項に規定する学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育行政評価会議を設置するものとし、必要な事項は別に定める。

(評価の基本的な事項)

第3条 教育委員会は、点検及び評価の実施に当たり、次に掲げる事項を協議し決定する。

- (1) 点検及び評価の対象に関すること。
- (2) 点検及び評価の実施方法に関すること。
- (3) 点検及び評価の対応方針等の決定(以下「結果」という。)に関すること。
- (4) 点検及び評価の結果の施策への反映に関すること。
- (5) 点検及び評価の結果の公表に関すること。
- (6) その他点検及び評価の実施に関し必要なこと。

(報告書の作成及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を行ったときは、その結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により作成した報告書を市議会に提出するとともに、公表するものとする。

(市民の意見及びその反映等)

第5条 教育委員会は、公表した報告書について市民から意見があった場合には、施策又は点検及び評価に適切に反映させるように努めるものとする。

(点検及び評価の改善の検討)

第6条 教育委員会は、毎年度、点検及び評価のあり方について検証を行い、その課題を把握し、鹿児島市の行政評価の動向も参考としながら、その改善について検討を行う。

(委任)

第7条 この要綱に規定するもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年5月22日から施行する。

教育行政評価会議設置要領

(趣旨)

第1条 教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱（平成20年5月22日制定）第2条第3項に規定する教育行政評価会議（以下「評価会議」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 評価会議は、教育委員会の求めに応じて、次の各号に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会の点検及び評価の方法に関すること。
- (2) 教育委員会の担当課が実施した点検及び評価の一次評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価会議は、5名以内の委員で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱してから教育委員会が点検及び評価の結果を公表するまでの間とする。
- 4 評価会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 5 会長は、評価会議の会務を総理し、評価会議を代表する。
- 6 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 会議は、会長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、関係職員その他会長が適当と認める者を会議に出席させ、関係事項について説明させ、又は意見を述べさせることができる。

(庶務)

第5条 評価会議の庶務は、教育委員会事務局管理部総務課において処理する。

(委任)

第6条 この要領に規定するもののほか、評価会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要領は、平成20年5月22日から施行する。